“ジュネーブから今を見る”

今日のヘッドライン

南米

2018年1月25日

ブラジル控訴裁判所、ルラ元大統領に厳しい判断

今回のルラ元大統領の控訴裁判所の決定は判事が全員一致で有罪判決を支持するなど、ルラ元大統領にとり厳しい内容で、反対に市場にとっては明るいニュースと見られます。ただ、次の有力候補者不在が不透明要因です。

ブラジル控訴裁判所：ルラ元大統領の有罪判決を支持、市場は好感

ブラジルの控訴裁判所は2018年1月24日、下級審がルラ元大統領に収賄などで有罪の判決を言い渡した決定を支持しました。ルラ元大統領は、大統領任期中、国営石油会社による公共事業委託と引き換えに、地場建設大手からマンションを受け取った罪に問われています。控訴審の判事3人が全員一致で下級審の有罪判決を支持する厳しい内容です。ブラジルの次期大統領選は18年10月に行われる予定です。ルラ元大統領は現在、世論調査で首位となっています（図表1参照）。ルラ元大統領は、公約として、テメル現大統領が進めている歳出制限や労働市場の規制緩和など、市場が歓迎している改革を巻き戻すと述べています。

どこに注目すべきか：控訴裁判所、大統領選挙、左派、構造改革

今回のルラ元大統領の控訴裁判所の決定は判事が全員一致で有罪判決を支持するなど、出馬を予定しているルラ元大統領にとり厳しい内容で、反対に、為替など市場にとっては明るいニュースと見られます（図表2参照）。ただ、仮にルラ氏不出馬でも、次の有力候補者不在が不透明要因です。

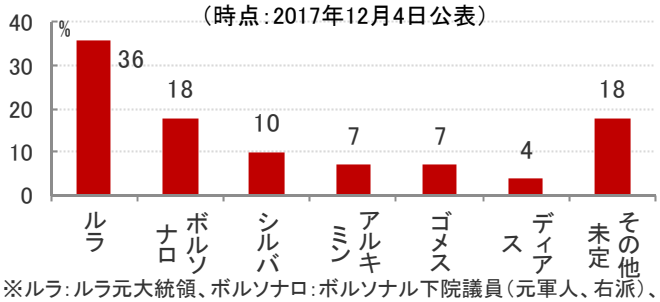
今回の判決により、10月の大統領選挙における同氏の立候補はかなり難しくなったと見られます。控訴裁は今回ルラ被告に対し、下級審が言い渡した禁錮9年6ヵ月を、同12年1ヵ月に延長する判断を下したことや、控訴審の判事3人が全員一致で下級審を支持した点で、ルラ元大統領にとっては厳しい判決内容と見られます。

ルラ元大統領は判決後サンパウロで支持者を前に演説し、無実を主張すると共に、大統領選への出馬に意欲を示しました。確かに、収監でもされなければ、ルラ元大統領が選挙戦を続けることは不可能ではないといった報道も見られます。ただ、まだ出馬の可能性があったとしても、世論調査でトップを走るルラ元大統領が18年10月の選挙で選ばれる可能性は大きく後退したと見られます。構造改革を推進する必要があるブラジルで、ポピュリスト的な左派政権の可能性が低下したことは市場にはプラス要因と見ています。

しかし、たとえルラ元大統領不出馬でも懸念が無いわけではありません。代わりの（左派）候補が現れるかもしれません。また、構造改革の推進役も不透明です。改革を進めてきた現職のテメル大統領は支持が1割以下、不支持が9割近くと人気がありません。世論調査で2位以下の顔ぶれを見ても、政治手腕は未知数です。ブラジル大統領選はルラ元大統領の可能性が低下したとしても、有力候補不在という問題が市場の不透明要因として残る懸念も考えられます。

図表1：ブラジル大統領選挙の投票動向調査

（時点：2017年12月4日公表）

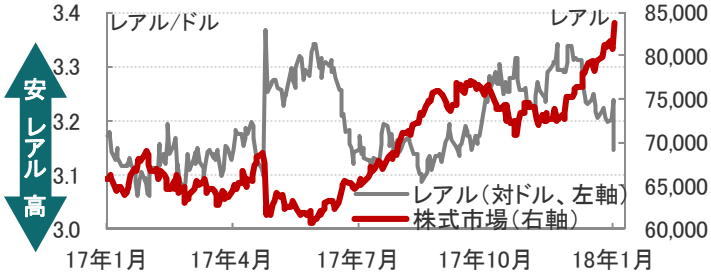


※ルラ：ルラ元大統領、ボルソナロ：ボルソナル下院議員（元軍人、右派）、シルバ：マリナシルバ元環境相、アルキミン：サンパウロ州知事、ゴメス：シロ・ゴメス（弁護士）、ディアス：アルバーロ・ディアス（Podemos）

出所：Datafolhaを参照しピクテ投信投資顧問作成

図表2：ブラジルレアル（対ドル）と株式市場の推移

（日次、期間：2017年1月24日～2018年1月24日）



※ブラジル株式市場：ブラジル ボベスパ指数（Ibovespa Index）

出所：ブルームバーグのデータを使用してピクテ投信投資顧問作成

PICTET 1805

ピクテ投信投資顧問株式会社

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。